



個別化教育の推進に思う

東海個別化教育研究会会長 高木省三

全国個別化教育研究連盟が、昭和59年6月に結成されて、早や丸2年を過ぎました。昭和60年6月には、愛知、岐阜、三重、静岡4県を、1ブロックとした東海個別化教育研究会が誕生し、61年3月には、九州個別化教育研究会が誕生しました。今後とも、それぞれの地方で、個別化研究のサークルが結成されるよう期待します。

文部省は59年度より、学校建築の中にオープンスペースを含めることを認め、個別化教育を学校施設の面からも促進しようとする意図がうかがわれます。

また、このごろ答申した臨教審の、教育改革の内容は基本としては「個性重視の確立」を大きくクローズアップして、ここより教育目標が導入されて、①ひろい心とゆたかな創造力、②自主自律と公共精神、③世界の中の日本人にまとめられている。特に第3部会では、伝統的な画一的教育の短所を補完する立場から、児童生徒の個性の伸長、豊かな人間性と自己教育力の育成等が重点的に取りあげられていて、今後の義務教育学校の進む方向が示唆されています。

私たち教育現場を預っている教師集団にとっては、臨教審の提言も含めて、今「何をなすべきか」と自問自答することも意義があると思います。

それは、これから多様化する新時代に対応する新鮮な感覚をもった教師の活性化であり、教師の資質の向上であると思います。教師の学習指導における創意工夫と研究意欲の有無が、学校の命運を左右します。

伝統的な教育の短所を改革しつつ、特色ある学校づくりこそ、教師集団の使命であり、そこに始めて教師の創意工夫が満ち溢れた現場が生れ、個別化指導も相乗的によい成果をもたらすものと確信します。

画一的教育は、それなりの長所があり、すべてを否定するものではないことは、前述した通りです。個別化教育は、児童、生徒たちの能力や個性の伸長に焦点をあてて、自己教育力を伸ばすという長所があります。

児童・生徒が学習内容を学習する方法は、多様化して

いる。児童・生徒たちが、興味深く、意欲的に学習するには、画一的教育だけでは魅力ある学習にはならない。教師の創意工夫による学習指導法が実践されることが望まれる。個別化指導は、その一つの方法として効果的であると考えられています。

しかし、個別化教育は、新しい指導法であり全国的には定着する段階に至っていない。これから、本会員の皆様方が、各地区で先導的役割を果しながら、他方では自己研修に励み、遅々とした歩みであってもいい、確実に一步一歩と地盤を固めて、個別化教育が、児童・生徒にとって楽しい学習方法であり、画一的教育と共存しながら、各学校の中で、大手を振って生きていくような姿に育てられることを願ってやみません。

〔全国個別化教育研究連盟 理事
愛知県東浦町教育委員会教育長〕

研究発表会のご案内

第2回九州個別化教育研究会
期日 昭和61年8月22日(金)
会場 福岡市教育センター 電話092-947-0079

個別化・個性化教育実践発表会
期日 昭和61年10月31日(金)11月1日(土)
会場 池田小学校(岐阜)電話0585-45-2681
全国個別化教育研究連盟総会開催

個別化・個性化研究発表会
期日 昭和61年10月8日(水)
会場 赤倉小学校(山形)電話0233-45-2810
富沢小学校(山形)電話0233-45-2811
期日 昭和61年10月13日(月)
会場 手ノ子小学校(山形)電話0238-75-2644

第2回東海個別化教育研究会研修会終る

昭和61年5月31日(土)、名古屋市教育会館において、標記の会が開かれた。以下は、「合科・総合学習の実際と個別化学習材の検討」についての発表内容である。

子どもたちの学習を支えるもの

— 6年理科「植物どうしの関係」より —

東浦町立卯ノ里小学校 神谷 鐘義

私たちは、学校の施設・設備すべてを「学習活動の場」としてとらえ、子どもたちの学習活動がより生き生きとしたものになるように環境構成に力を注いでいる。

そこで、校舎内外すべてが、子どもたちの興味・関心を喚起させるにふさわしい場となるように努めている。

1. 学習環境

私たちは、子どもたちの学習活動の拠点である教室を含めたワーク・スペースを中心に環境整備に努めているが、その中で私たちが学習活動にふさわしい場と考えて学習環境を提供しても、子どもたちにとっては、それが意味のないものであったり、不要のものであったりする場合も見うけられる。反対に、私たちが予想もしない場所が、子どもたちにとって格好の学習場所となることもある。私たちは、学習環境について、こういった子どもたちの動きとも考え合わせながら環境整備に努めている。

— 本单元の学習環境 —

- ホウセンカ、ヒマワリをまいたプランター
ホウセンカだけのもの、ホウセンカとヒマワリを混ぜてまいたもの2つを用意。
- 顕微鏡コーナー
いろいろな花の花粉を自由に見ることができるコーナー。
- VTRコーナー
今回の学習だけでなく、當時子どもたちが自由に見ることができるよう設置。学年ワークスペースに1か所、視聴覚センターに1か所。
- 樹木図(玄関ロビーに、校内の「樹木図」が三角柱の掲示板に貼付してある。
- 校庭の樹木

2. 自学を進める上で学習材

私たちは、子どもたちが自学を進める上で必要な学習材を、学習活動の拠点である教室を含めるワーク・スペースを中心に整備をしている。

私たちは、学習材を学習に直接関係するものと、直接関係はしないが間接的に関係しているものの両面からとらえ、実践を進めている。

間接的な学習材とは、子どもたちにとって、意外性の



あるもの、批判的なもの(価値判断を必要とするもの)、美的なものなどを考え、主に単元の学習に入る前に、子どもたちの興味・関心を呼び起こそうとするものである。間接的な学習材とは、別の角度から考えると、ある程度長期にわたっての継続性のある「静的環境」ととらえることもできる。

そして、直接的な学習材とは、私たちが自学を促すために開発してきた学習パッケージ等がこれにあたる。子ども一人ひとりの特性に応じられるような学習材が、子ども一人ひとりの学習の成立へとつながるものだと考える。直接的な学習材とは、「静的環境」に対して、学習のめあてに応じて変化する「動的環境」であるともいえる。

また、私たちは、準備された学習材すべてを、子どもたちが使用しやすいようにしておく必要がある。自学を進めるのに必要な資料、ごくわずかな者が使うであろうと考えられるものもそうである。しかも、それらのすべてが、子どもたちの手のとどく身近な所に配置されなくてはならない。そのことによって、一人ひとりの子どものすべてが、直接経験できるようにし、真の学習が成立することを考えている。

— 本单元の学習材 —

- カード、プリント類
学習の手引き、学習計画表、学習カード1~4
資料カード1・2、解答カード1~6、ヒントカード、参考資料(プリント)、植物地図
- VTRテープ
「森林」「森林と日光」「森林の生き物」「花と虫」「花粉の旅」「取りもどした自然」「人間対カモシカ」「昆虫大発生」「海底クリーン作戦」「土のなくなった都市」「熱くなる地球」「生きている渚」「緑とヒト」
- 図書、その他
植物図鑑などの図書、理科資料室

(発表原稿より)

九州個別化教育研究会発足と今後の計画

九州個別化研究会副会長 前崎敏雄

「九州にも個別化の会をつくろう」を合い言葉にして会の組織化に努めてきました。九州全県という地域の広さが、会設立の障害になってきたことも事実です。しかし、各県の発起人の先生方の熱意と協力によって「九州個別化教育委員会」が誕生しました。

設立総会は、3月8日(土)に、福岡県久山町立久原小学校で開かれました。当日は、国立教育研究所室長の加藤幸次(全個教連副会長)、東京都板橋区金沢小学校長の松崎二葉(全個教連事務局長)の両先生もおいでいたので盛会裏に終りました。

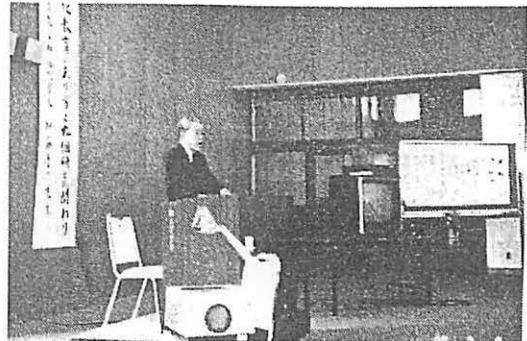
総会当日は、午前中に、久原小学校のユニークな施設と授業参観、午後に設立総会を行いました。設立総会では、設立までの経過報告に次いで、会則と役員が決定されました。顧問として、加藤幸次(国立教育研究所室長)会長、副会長として、会長 三原英雄(春日市教育長)副会長 安田政登(沖縄県具志川市教育長)前崎敏雄(福岡県教育センター研究部長)荒木 隆(福岡県教育庁指導主事)の諸先生方が選出されました。

次いで、第1回研究集会に移り「個別化学習を中心としたマイベース学習の実態」(福岡県久原小学校)「個別化教育推進上の悩み」(福岡県京町小学校)の発表が行われました。さらに、参加会員による情報交換と加藤幸次先生の記念講演、懇親会を行い幕をとじました。

情報交換会や懇親会の中では、九個研の設立に対する喜びと期待、会設立に至るまでの労苦に感謝の言葉が随所に聞かれました。

加藤幸次先生は、記念講演の中で、教育の今日的課題と、それに果たす個別化教育の役割について述べられ、合わせて、九個研の今後のあり方について示唆していました。

九個連の事務局は、福岡県柏原郡久山町立久原小学校(TEL)092-976-0008)においています。



本年度の九個研の主な事業計画は、会程の発行、第2回研究大会の実施、研究紀要の発刊を考えています。

第2回の九個研研究大会は、本年度の最重点行事として、画期的なものとなるように事務局を中心に鋭意努力しています。次にその大綱を紹介しておきます。

第2回の研究大会は、個別化教育の本質を究明するとともに、会員相互の理解と、各学校間の情報交換に重点をおきたいと思っています。

大会テーマ 「個別化教育は、教育活性化の主役となりうるか」

日時・会場 61年8月22日(金)福岡市教育センター

内 容 61年度総会 経過報告 基調提案

実践発表 兼原小学校(沖縄県)

加世田小学校(鹿児島県)

山内西小学校(佐賀県)

久原小学校(福岡県)

講 演 加藤幸次先生(全個教連副会長)

当日は、VTRやスライド等によって、個別化の授業の様子についても紹介し、協議の素材にするよう企画しています。

行事の中のもう一つの「研究紀要の発刊」という事業は、九個研の会員が広域にわたっているという実情からお互いの情報交換の場を設定するという意図で考えてみました。紀要というよりも、情報交換誌といった性格のものになると思います。プロットをどうするか、中味に何を収録するかなど、現在事務局で検討しています。会員としての所属感と一体感を高めるために役立つものになるよう企画を練り上げています。

先日、対馬と宮崎の校長先生から、九個研についての問い合わせの電話がありました。徐々にではありますが会の存在と価値が認識され、着実に根づきはじめていることに喜びとやりがいを感じています。



事務局だより

事務局長 松崎二葉

東京は今、梅雨空です。全国の会員の皆様には、それをお勧め先で、お元気にご活躍のことと存じあげます。

事務局会を開きました

この春の人事異動で、事務局員の幾人かが異動しました。その結果、事務局内の役割分担を変更する必要が生じました。

新学期の学校づくりが一段落した5月17日、金沢小学校において、本年度第1回事務局会を開きました。そして事務局の構成を、次のように決定しました。

記 印副部長

| | |
|---|---------------|
| 事務局次長 松田 崎 二 葉 新 井 久 | 庶務部 部長 佐藤 武男 |
| | ○ 奥田 寒 新田 登作 |
| | 橋本 治典 |
| | 会計部 部長 松山 雄一 |
| | ○ 柳田 秋美 唐木 進 |
| | 新妻 則子 |
| 研究部 部長 木下 靖正 | ○ 三谷 恭平 高田 悅 |
| | 渡辺 茂 田中 清介 |
| | 研修部 部長 上山 英昭 |
| | ○ 倉上 保 大原 満夫 |
| 組織部 部長 田村 邦太(兼務) | 笠原 春雄 |
| | ○ 岩木 重夫 |
| | 編集部 部長 梅川 三郎 |
| | ○ 渡辺 鈎一 大谷 清子 |

各地区個別化教育研究会と連盟の関係について

東海個別化研究会と、九州個別化研究会とが、すでに誕生し、それぞれに活動を開始しておりますことは、ご承知のとおりです。

これらの研究団体は、各地区において誕生した団体であります。独自の組織活動を、自主的に行う団体であります。したがって、会費、活動内容、組織等についてはまったく独自に、おすすめいただくことになります。

しかし同時に、全国個別化教育研究連盟の加盟団体としての性格を有します。したがって、権利と義務が生じます。簡記しておきます。

- ① Aさんが、地区の研究団体に加入いたしますと、その会則によって、会費を払ったり、恩恵を受けた

りすることは当然です。

- ② 同時にAさんは、全個教連の会員にもなるわけです。もともと全個教連の会員であった方が、地区的団体の会員になられるというケースもあります。いずれにせよ、各地区的研究団体の事務局の方はく連盟の会員ではあるが、地区的研究団体の会員ではない)という人が生じないようにご注意ください。(地区的会員ではあるが、連盟の会員ではない)という人が生じないようにも、努めてください。
- ③ Aさんは、連盟の会員として、年額2000円を納入していただくべきです。しかしAさんが、地区の会員であれば、全個教連の会則の定める年会費2000円のうち1000円が豁免されます。
- ④ Aさんの連盟会費は、地区的事務局を通じて、一括納入されます。Aさんへは、会報その他の連盟情報や恩恵が、地区研究会の事務局を通して届けられます。

東海地方や九州地方以外の全国各地の方々については連盟事務局と直結した形で、納入や配布がなされます。従来どおり、よろしくお願ひいたします。

昭和61年度においても、着実な活動を

- ① 会報の発行
- ② 学期研究会の開催(金沢小で、学期1回)
- ③ 夏季研修会の開催(別紙折り込み参照)
- ④ 地区研究会の発足の促進

事務局は金沢小、加入手続きも金沢小

事務局会の結論として、事務局は金沢小、加入手続きも金沢小ということになりました。加入手続きであった志村四小のみなさん、長い間ありがとうございました。

〒173 東京都板橋区加賀2丁目2番1号

板橋区立金沢小学校

電話 (03)964-3068 (校長室)

全国個別化教育連盟 事務局長 松崎二葉

61年度の会費を お払い込みください

同封の振替用紙によって、よろしくお願い申しあげます。(東海・九州の研究会員の方へは同封しません)

この会は、会員の会費によってのみ、その運営をしています。よろしくお願い申しあげます。